

ひかわホットニュース!

ひかわの最新ニュースをお届けします!

10/30 今年も豊作だったよ!もち米の稲刈り体験

竜北西部小と竜北東小の5年生の農業体験学習が、ひかわツーリズムクラブ圃場で行われました。

鎌を使った稲刈りでは、最初は皆ぎこちない手つきでしたが、使い方を教わると「簡単に切れる!」と積極的に作業を行っていました。

また、昔ながらの千歯こきでの脱穀も体験。手作業での体験をしたことで、今と昔の農業の違いや、作物を育てる大変さをしっかりと実感できた様子でした。

5月の種まきから始まり、田植え・かかし作り・稲刈りまでの全ての行程を体験し、次は自分たちで育てたもち米を使った料理にチャレンジします。

今年はどんなメニューができるか、どうぞ期待!



▲JAやつしろ青壮年部による指導



▲みんなで集合写真



▲たくさん稲刈りしたよ!

11/2 出場おめでとうございます
～全国大会等出場者激励会～

氷川町役場庁議室において、全国大会等出場者激励会を行い、藤本町長から出場者に報奨金が手渡されました。

【大会名】ユニバーシアード大会記念

第27回九州大学野球選手権大会

【出場者】東海大学九州キャンパス 2年

平野 航さん(東網道)



▲平野 航さん

11/10 氷川町婦人会から手作りマスクが寄贈されました

氷川町婦人会が、「子どもたちのために」と、マスクを手作りし、浅山正代会長ら5人が太田教育長へ手渡されました。

手作りマスクは、婦人会が8月末から約2か月かけて477枚を製作したもので、寄附された不織布マスクと合わせて、今回508枚が寄贈されました。

太田教育長は、「今回のマスク寄贈だけでなく、日頃から小中学校を支援していただき、大変感謝しています。」とお礼の言葉を述べました。



▲手作りマスク



▲マスクを寄贈する婦人会の皆さん

10/14 ~27 熱戦繰り広げられる～第15回氷川町会長旗ソフトボール大会～

桜ヶ丘グラウンドで第15回氷川町会長旗ソフトボール大会が開催され、町内から8チームが参加し、熱戦が繰り広げられました。

決勝戦に勝ち上がったのは、高野道チームと竜華チーム。試合は両チームが点を取り合う展開となり、最終回でも決着がつかなかったため、延長戦となりました。竜華チームが6点を取り、高野道チームも4点を返しましたが、惜しくも届きませんでした。

結果は、14対12で竜華チームが優勝し、白熱した氷川町会長旗が幕を閉じました。



▲優勝した竜華チーム

10/14 い草・い製品の品評会で5人が特別賞を受賞

第46回熊本県い草大会(い草・い製品品評会)がJAやつしろ中央い製品集荷場で行われ、い草部門に122点、い製品部門に108点出品されました。

品質や規格など総合的な審査により、氷川町から5人が特別賞を受賞しました。特別賞の受賞者は以下のとおりです。

(い草の部)

農林水産省生産局長賞 中島 光代さん(上鹿島)

(い製品の部)

農林水産省生産局長賞 松田 直哉さん(北野津)

農林水産省九州農政局長賞 早川 猛さん(北鹿野)

全国い生産団体連合会会長賞 上本 修久さん(西網道)

//

上本 美香さん(西網道)



▲厳格な審査が行われました

10/23 総合振興計画の外部評価を実施

町では、平成30年度からの10年間のまちづくりの指針となる第2次総合振興計画を策定し、「住民が安心して暮らせ、幸せを実感できる持続可能なまち」を目指してまちづくりを進めています。

計画の着実な推進を図るため、行政内部の評価・検証だけでなく、住民による外部評価を実施し、取り組みの改善につなげています。

今回は、総合振興計画の進捗管理を行う総合振興計画審議会を開催しました。会議では、町の施策に対して、委員より質問や意見が出され、取り組みへの助言などをいただきました。令和元年度分の施策評価については、町ホームページに掲載しています。



▲総合振興計画審議会の様子